

講師： 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

今の社会には、地球温暖化などの自然環境に対する問題だけでなく、土地の利用方法についての意味の可成り違いなど意見の対立からなる問題もあると知った。太陽光発電や風力発電は、一見良さそうに見えるが、自然災害や騒音などの問題があり、自然と人々の意見をうまく解決するのは大変だと思った。新病院の建設に関する問題では、この可成りいいのでいいから、という町の人々の意見がほとんどで進んでいた。しかし、それらの意見すべてを取り入れることは難しいと思った。私は全てを取り入れたとしても、一番重要とした部分だけをとり出し、組み合わせるから解決策を導き出るといいのではないかと考えた。そのため、今後問題の解決策を考えるにあたって、一番重要となる解決策を取り出し、それを重点的に深く考えようと思う。また、解決した後、また異なる問題が出てくるようにするため、先のことをよく考える必要があると思う。

12月15日(金) 1年次講演会

1年()組()番 氏名()

講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

私たちの身近に起きている問題で、「エネルギー」「ふるさと納税

問題」「市民病院の統廃合」この3つをテーマに話していただきました。

最初の2つのテーマは実際に知っていたことでもあり、友達との意見共有

をする際もスムーズに話し合いができました。エネルギー問題については

問題を解決するには再生可能エネルギー、太陽光パネルの利用などが

あるけれど、現地住民の意見も取り入れながらより良い暮らしにするために

考えることが大変であり、大切だと思いました。ふるさと納税の問題では、今の

私達の年齢層の人達だけでは解決しようにもできないが、国の取り締まりを

強化するべきだという意見が出ました。病院の統廃合についても、両方の

意見もわかるが、統合をしない方が良いのではないかという意見でした。

今回用意してくださったテーマの新聞記事を通じてこのような

機会をつくることで学生の読解力や文章理解力があがるのでは

ないかと思いました。新聞は今世界の出来事やトピックスについて

報道しているのでNIEでの教育を通して社会や地域の出来事に

関心を持ち、社会に強く関わっていくことが大切だと気がきました。

自分の意見を持ち、議論することがこれから先必要とされること

だと思うのでどのような場面でも行動していきたいです。

12月15日(金) 1年次講演会

1年()組()番 氏名()

講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

新聞をよむ機会は本当に少なく見ようと自分からも思わなかったけど

多くの記者たちがいろんな現場に足を踏んで

調べあげた記事は一目でわかるような文だったし

正しい情報が書かれているのだと気づいた。

だから、読んでみたいし、記者の方の話はおもしろいなと感じた。

いろんな方面からとりあげられるスクープはしっかり調べないと

いけないと分かった。その場合は調べていく上での順序が

大切で時間配分が必要だと思った。

私はまだ、自分で調べて何かよきたいとは思わなかったけど

調べた上で知るよすがが増えていくのがいいなと思う。

また、テーマを決める前に先生の話題に興味をもつことが必要だと考えた。

そして、そこから話を広げていくことに出来事について深掘りして

課題研究のときでも役に立つと思った。

自分が調べたことを誰かに伝えたいという気持ちでこれからの

取り組みを頑張りたいと感じた。

講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

- ・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

私は話を聞くまで、週1回のNIEは人の役に立つんだろうと何も意識したことがなかった。だけど、今回お話をさせて頂いて分かったことがいくつかあった。一つは、新聞はテレビでは報道されない所まで詳しく掲載しているという点。もう一つは、新聞には地域ごとの地方だけのものもあるから地元にあった出来事をもっと深く知れるという点。私はこの2つのことを明確に気づくことができたけど、まだ気づけていないたくさんあると思うから、これからのNIEの時間を使って見つけていきたいと思う。

また、私は2つの気づきをもっと身の周りの生活に活かしたい。例えば、神戸市の環境について書かれている新聞があればどうなんだと総てに何でそうなるんだろうと、内容についての問いを考えたり、解決案を自分で見つけてみたりする。

新聞に書かれていることに対して「なぜ」と疑問をもち答えまで解くと日頃行っている国語の授業やその他のことでもスムーズに自分の考えを出ることができるようになりたいと思った。

講師： 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

今回、NIEについての講演を聞いて、どんなことに対しても何かの判断をするときは、たくさんの情報を知ることが大切だと分かりました。具体的には、情報源はどこののかを確認したり、本当に正しいのか疑ったりする必要のあることを学びました。それに、提供する側は、賛同してもらうために利点ばかり言って欠点をあまり言わないことが多いからこそ、利点ばかりに注目するのではなくて、欠点もしっかりと知った上で賛同するかどうかを考えることが大切だと思いました。

また、全てのことに共通して自分の意見をもって発言していくことが重要だと思いました。周りの意見に流されない、そして人任せにしないためにもこれから自分の意見をもち、主張していきたいです。そのために、18歳になり選挙^権をもったときに、自分たちには関係ないのではなく、自分の意見を主張するという意味でも責任をもって投票したいです。

12月15日(金) 1年次講演会

1年()組()番 氏名()

講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

どんな物事においても、メリットとデメリットがあるんだと感じた。今回挙げられた3つの話にも良い点と良くない点があった。それらを見てみると、そういう視点もあるんだなと感じた。また客観的な意見を取り入れることは、自分一人では考えることのできなかつたものが見えるんだなと思った。それと同時に、その意見は改善点となるので、物事を客観視することの必要性がわかった。

この講演会で気づいたことは、クロスカリキュラムの発表やポスターの改善に活かそうと思う。また来年の課題研究では、他から見た意見を取り入れながら制作していこうと思う。そして毎週金日曜日の朝読の時間に行っている活動では、記事に対して自分の意見を持つようにする。



講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

今回の講演会を聞いて、税金など普段ふれない話題に触れ、初めて知ったこと、学んだことなどが多かった。特に私はふるさと納税について印象に残っています。私がふるさと納税を知ったのはCMで好きな芸能人の方が出ているからです。そのとき、ふるさと納税の仕組みを知り、親せきや友達家族もしているゲームなどにも気づきました。けれど調べてみるとふるさと納税の制度にはメリットとデメリットがあることがわかりました。例えば、メリットは寄付金額の30%で返礼品を受け取れる、1600の自治体から選ぶので生まれ育った地域などを選ぶ。地域を応援できる。寄付金額から2000円を超えた部分が所得税、住民税から控除されること、挙げられなかったのは税制優遇があるわけではない。控除限度額を超過すると自己負担扱いになる。税金控除のための申請が必要なこと、挙げられていました。私はふるさと納税はあくまで「寄付」であり、税制優遇はないこと、ということを知り、最初からこの制度の仕組み、メリットデメリットをきちんと理解した上で利用することが重要だと気づきました。

今、成人する年齢が18歳になり、私も2年後成人することと考えるとこのようなお金のこと、社会の動きにも目を向ける必要があると実感できました。NIEの新聞やニュースでも様々なトピックに目を向けて、自分事として考えていきたいと思っています。

12月15日(金) 1年次講演会 1年()組()番 氏名()

講師: 勝亦 邦夫 様 「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

記者の方の話を書くのは初めての経験でした。

話を聞いていて驚いたのは多数派の意見ではなく、反対派などの少数派の意見を述べていることです。私の勝手なイメージでは、多くある意見を述べて記事にしているのかと思っていました。

でも実際に目指していることは公正で平等な取材をすることを書いて少しイメージが変わりました。

色々な話題を知っていて、普段からたくさん人の情報を集めていて、つねに敏感であるんだと感じました。

1番記憶に残っているテーマは3つの内、「再生可能エネルギー」についてです。原子力を使っていると、地球温暖化が進んでしまうのは誰でも知っています。かかるとして太陽光発電や風力発電にしようとする住民の心配や反対もあるということでした。テーマの最後に「おなじみでどうしようか」という

問いかけはなかなか難かしく、です。私はあまり考えたことがなかったため改めて友達と話すことができました。一見、クリットが多いうちに見えても、誰かが我慢しているかもしれないということをお忘れないようにしたいです。

12月15日(金) 1年次講演会 1年()組()番 氏名()

講師: 勝亦 邦夫 様 「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

講演会ではTさんのお話を聞いて、最初はNIEと納税の話は初めてNIEと納税の仕組みについて知る事が出来た。地方の赤字は赤字で都市部の方が赤字に悩んでいると知り、お金の取り合っているところを知り、2~3人の意見交換の会に入りました。また、市民病院の統合についても話を聞きました。統合すると通いにくくなることや、市民病院は三木市では神戶市に集まるのには疑問がある、説明不足でTさんの反対意見が湧きました。また、新市長が「一度設立をやめると言、Tさんにも聞かされた、再開したため反対意見が更に増え、Tさんにも知り、2~3人の意見交換をしました。その情報や意見交換を通じて、Tさんの情報や意見から最善策を出せるか「大切だ」と思いました。また、意見交換の時に自分と反対の意見を聞くことが大事だと思えました。そして「大切だ」と思、Tさんにも今後ニュースや新聞を見ることや、授業中の意見交換の大切さを伝えていくつもりです。



講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

現在の社会の問題は結論を出しにくいものはかつでも難しいな
と思いました。人間が毎日を過ごしやすくするためには自然を使ってい
かなければなりません。しかし自然をおしみなく使っていると、地球温
暖化などの環境問題が深刻化します。人間が長く生きていくためには
自然との共存が不可欠です。最初にこれらのことについて意見交換をし
たとき、1人の意見は「自然をうまく利用し環境に配慮したものを開発
していけばいい。時間はかかるかもしれないが、うまく共存すべきだ」という
主旨のものでした。もう1人の意見は「今、自分が生きている間に、問題が起
きなければいい、未来のことはどうだっていい」という主旨のものでした。
私も初めは自分が生きているときだけ安全で過ごしければ未来はど
うだっていいと思っていました。しかしよく考えると、もし将来子どもができた
とき、孫ができたとき、その子どもたちはどうなってしまうのか分かりません。
それを考えてから私は、未来のことにも配慮すべきだと思いました。

私は今回の講演会で特に環境のことについてのお話が一番興味をもち
ました。個人が意見をもたるところで政府の方針を変えられるわけでは
ないですが、物事について考え、自分の意見をもつことが大切なので
はないかと思いました。



講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

私はこの講演会を聞くまで自分の感じたままに物事を捉えていたことに気がついた。しかし、物事は二つ以上から捉えられていることを知った。ニュースなどで取り上げられる社会問題や政治、経済は基本、賛成派と反対派から成り、人の感じ方によって意見も異なるのだ。だから、その分、話し合いが必要となる。大事なことにその時間をかけて多くの人数が話し合うことを知った。それを判断する人がいてまた社会が形成されることを学んだ。私はNIEの時間、自分が気づいたことや感想を自分の価値観のままに思い込んでいたけれどそう思わぬ、多数の考えを持つ人がいることを実感した。だから、一度立ち止まって自分はこう考えるけど、こう思う人もいるな」ということを認識して今後の生活に活かしたい。物事の決定は、相手と話し意見を深めて条件に沿って話し合いを進めたいと考えて。この気づきを日常的に押しつけるのではなく、理解しようと思う。

12月15日(金) 1年次講演会 1年()組()番 氏名()

講師: 勝亦 邦夫 様

「NIEについて」

・講演会を聞いて気づいたことや、学んだことを今後どのように活かすか書きなさい。

講演会を聞いて、印象に残ったのは病院の併合の話だ。

その話を聞いて感じたことは、1つのことを決めるだけでなく

様々な視点からの様々な意見があって、そのほとんどが

対立している意見だという点。実際の実見として

どちらの市に作るのかなど、併合によって不便であったり

困る方もでてくるけど、全ての意見を受け入れることは不可能だから

最善な状態を取れるようにしていると知って大変だと思った。

今までのニュースなどでは全て決まった後の「結果」だけを知ることが多い

から、どのような意見があったのか、どういった理由で決まったのか

その他の選択肢や課題、懸念点なども含めて知る必要があると

思った。

だから、これから私が「事」にしたいと思ったのは、1つの問題に

対して、外側だけでなく判断するのではなく、複数の視点から

見て、内側で深く知り、考えられるようにしたいということだ。

OK